

授 業 目 名	基礎運動学I		授 業 形 態	講 義
			配 当 学 期	1 年(前期)
担 当 教 員 名	開 發 基 文、木 村 公 亮		単 位 数	1 単 位
			時 間 数	30 時 間
授 業 概 要 学 習 目 標	<p>〔授業概要〕</p> <p>運動学は運動を科学的に分析した学問である。</p> <p>作業療法士にとって解剖学・生理学と共に運動学は非常に重要な教科である。</p> <p>〔学習目標〕</p> <p>基本的な関節運動に伴う筋活動やそれらがOT治療場面でどの様に使用されているかを理解する。</p>			
授 業 回 数	授 業 の 内 容			
第 1 回	運動学概論(運動の定義)	[開発]		
第 2 回	バイオメカニクス	[開発]		
第 3 回	運動の要素	[開発]		
第 4 回	運動生理(骨、関節)	[開発]		
第 5 回	運動生理(皮膚、筋膜、筋)	[開発]		
第 6 回	運動生理(運動・姿勢制御)	[開発]		
第 7 回	運動生理(神経)	[開発]		
第 8 回	運動生理(呼吸、循環)	[開発]		
第 9 回	運動生理(エネルギー代謝)	[開発]		
第 10 回	肩関節の運動学I	[木村]		
第 11 回	肩関節の運動学II	[木村]		
第 12 回	肘関節の運動学	[木村]		
第 13 回	前腕の運動学	[木村]		
第 14 回	手関節・手の運動学I	[木村]		
第 15 回	手関節・手の運動学II	[木村]		
評 価 方 法	課題(小テスト、レポート)(100%) ※定期試験はありません。			
教 科 書 参 考 図 書	<p>〔教科書〕 基礎運動学 第6版(医歯薬出版)</p> <p>運動療法のための機能解剖学的触診技術 第2版 上肢(マジカルビュー社)</p> <p>運動療法のための機能解剖学的触診技術 第2版 下肢・体幹(同上)</p> <p>筋骨格系のキネシオロジー(原著第3版)(医歯薬出版)</p>			
履 修 上 の 留 意 点	作業療法士を目指す上で基本となる講義です。ここでの知識をしっかりと記憶に定着させることが重要になってきます。記憶する量も多いですが、理解できるように根気強く繰り返し復習することが必要になってきます。			
メ ッ セ ー ジ	テストは行わず、ポートフォリオを使用して自己学習など課題により評価を行います。積極的に国家試験や実習でも重要な科目ですので、頑張りましょう。			